

先進地視察研修を実施しました

農業を学ぶ生産科学系列の2年生9名・3年生の生徒9名の18名が6月19日（木）に京都学園大学バイオ環境学部・京都府農林センター（いずれも亀岡市）を訪ね先進地視察研修を行いました。

この研修は、①「農業関連学部を持つ大学」の施設見学や大学の先生から話を聞くことにより、自らの進路や今後の農業学習のあり方を考える機会にする。②京都府の農業の現状と課題を理解する。③生産科学系列の学年を超えた連帯感を高めるとともに生産科学系列生としての自覚を高める。ことを目的に実施しました。

京都学園大学では、来年度新しく開設されるバイオ環境学部食農学科の話を中心に聞いた後、キャンパス内の圃場を説明を受けながら見学をさせていただきました。

見学をした生徒は、大学の施設設備の充実度に感心するとともに、大学に対してのイメージが実感としてわいてきたようでした。

また、京都府農林センターでは、京都府の農業の現状やセンターで研修されていることについて話を聞いた後、実際に研究をされている圃場を見学させていただきました。

実際に学校でも栽培している、マメ（エダマメ）や水稲についての研究圃場もあり、メモをとりながら熱心に聞き入っていました。

今回の視察研修を終えて、今後、進路を考える一助に、また農業の学習に役立ててくれることを願っています。



京都学園大学バイオ環境学部 研究室



京都府農林センター研究圃場